

**（件名）中国人の海外旅行の楽しみ方について****● 海外旅行を楽しむ中国人はどのような人たちか**

中国の代表的なニュースサイト「搜狐」によると、2023年に海外旅行に出かけた中国人の割合は、男性が44%、女性が56%と女性の方が12ポイント高く、これはコロナ禍前の2019年とほぼ同じでした。年齢別では、1990年以降に生まれた若い世代の割合が増え、就職して経済的に自立した若者たちが海外旅行を楽しんでいることが分かります。

オンライン旅行会社は、昨年と比較して中国人海外旅行者における55歳以上の年配層の割合が高まっており、「三世代旅行」が本格的に回復したと分析しています。2024年上半期の海外旅行者数は、昨年の3倍に増加し、うち75%近くが近距離旅行を選択しているものの、長距離旅行者数は4倍と大きく増加しました。日本を含む近距離旅行では、フリープラン、現地発着プラン、小グループでのプライベートツアー等、自由度の高い旅行が人気となっているそうです。（※オンライン旅行会社「同程旅遊」及び「牛途」の発表による。）

また、日本政府観光局（JNTO）の統計によると、コロナ禍前の2019年の訪日中国人客数は約1,000万人を記録していましたが、コロナ禍が明けた2023年は242万5,000人と、他の国・地域と比べ回復に遅れが見られます。一方で、訪日中国人1人当たりの消費額は、2019年には約20万円だったのに対し、2023年は30万円を超えており、訪日中国人の客層が変わってきているようです。

**● 2024年夏休みの海外旅行の動向**

オンライン旅行会社「同程旅行」によると、夏休み中に人気が高かった海外旅行の行き先は、中国とビザ免除協定を結んでいるシンガポール、マレーシア、タイのほか、日本や韓国に集中したそうです。

また、右の2024年夏季の人気旅行先ランキングのとおり、パリオリンピックやサッカーEURO2024を契機に、パリやベルリンも一部のスポーツ愛好家を引きつけました。（右表の出典：同程旅行 [2024年暑期旅游消费热点和趋势速览](#) | [同程旅行发布暑期旅游大数据 \(qq.com\)](#)）

&lt;2024年夏季 人気旅行先 TOP20&gt;

順位	目的地	順位	目的地
1	バンコク	11	ロサンゼルス
2	東京	12	アモイ
3	クアラルンプール	13	ニューヨーク
4	ソウル	14	ホーチミン
5	シンガポール	15	シドニー
6	大阪	16	ベルリン
7	香港	17	イスタンブール
8	ブーケット島	18	バリ島
9	チェジュ島	19	パリ
10	ロンドン	20	モルディブ

**● 旅行先での過ごし方**

「海外旅行先でどのように楽しむか」を取り上げた中国の報道によると、1位の「インスタ映え」は幅広い年代に共通しており、2位には1カ所に滞在してディープな生活体験を楽しむことが挙げられています。

また、「海外旅行+α」という考え方が好まれ、旅行先でグルメやショッピングを楽しむことに加え、博物館やコンサート、スポーツイベント、映画・テレビのロケ地巡り、健康作りなど、その地域ならではの「体験」を重視する傾向が強まっているようです。

コロナ禍前は、団体ツアーに参加する訪日中国人が多かったですが、現在は混雑した旅行先を避け、少人数でより親密な旅行を好む傾向が強まり、付加価値の高い特別な体験や、旅行の回数よりも質を追求するようになったと言われています。

※参考：紅網時刻新聞 [同程旅行发布 2024 出境游趋势报告：年轻人更爱出境打卡，“出境游+X”玩法受追捧 \(baidu.com\)](#)

**● 所見**

中国では、映画等の影響により北海道の認知度が高く、よいイメージを持っている方が多いです。中国人が旅行先での現地ならではの体験を重視する傾向が強まる今、豊かな自然やアイヌ文化、季節折々の食材など、様々な魅力を持つ北海道は、ますます人気の旅行先になると感じています。

中国人は情報収集に熱心で、自分が関心を持つことは丁寧に調べます。当事務所のSNSにも、道内の観光情報等を発信すると、イベントの詳細情報や交通手段、予約方法など、多くの問合せが寄せられます。

当事務所では、今後も、「特別な体験」として関心を持ってもらえるような情報発信や、問い合わせへの丁寧な対応を通じて、北海道の魅力を発信していきたいと考えています。